

きゅうしゅう

No.29

編集・発行 九州防衛局 総務部 福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎内 TEL092-488-8811

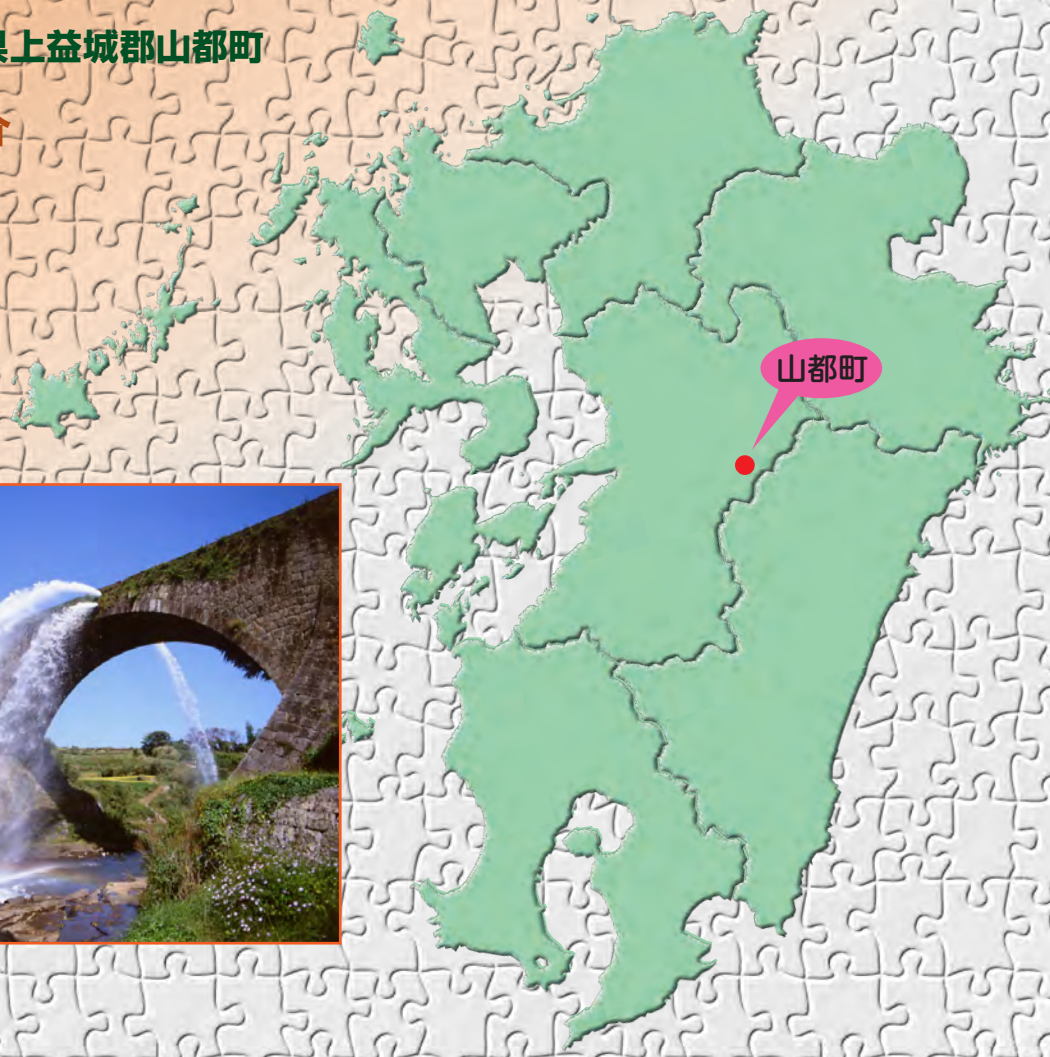
陸上自衛隊大矢野原演習場



目次 CONTENTS

- 1 陸上自衛隊大矢野原演習場紹介
- 2 自治体紹介～熊本県上益城郡山都町
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション

通潤橋
(熊本県上益城郡山都町)



九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



防衛省・自衛隊
MINISTRY OF DEFENSE

1 陸上自衛隊大矢野原演習場



第8師団副師団長兼ねて北熊本駐屯地司令

九 鬼 東 一
(くき とういち)

駐屯地司令挨拶

九州防衛局広報「きゅうしゅう」の読者の皆様、こんにちは。
第8師団副師団長兼ねて北熊本駐屯地司令の九鬼です。

大矢野原演習場は上益城郡山都町に所在し、第8師団長が統制する西部方面隊管内で2番目に大きい中隊規模の訓練が可能な演習場であり、主に第8師団隷下部隊と幹部候補生学校等の師団隷下以外の部隊の心と技を練磨する道場として、旧陸軍から使用されている演習場であります。

大矢野原演習場は北熊本駐屯地から約90分と利便性も良く、周辺自治体の皆様とも良好な関係を築いており、今後とも長期的に安定使用できる演習場を目指して取り組んでいきたいと思っております。

演習場の紹介

大矢野原演習場は、明治16年に旧陸軍の演習場として使用され、戦後駐留米軍が使用し、昭和32年の返還に伴い、現在は陸上自衛隊北熊本駐屯地が管理する演習場として使用されています。

大矢野原演習場は阿蘇山南外輪山の麓にあり、標高約400mの高台に所在し、北熊本駐屯地より約40km、健軍駐屯地から約30kmの位置にあり、気温は熊本市内と比べ平均4～6℃ほど低く、主要道路は、国道445号線(熊本市内から御船経由)と熊本空港・西原村方面から進入でき、九州横断自動車道延岡線の工事も着工中(H26.3.22嘉島JCT～小池高山IC間1.8km開通)で、利便性の向上が期待されています。

演習場の規模としては、中演習場(西方管内では日出生台演習場に次いで2番目の広さ)であり、平成7年には場内に、屋外の基本射撃場が整備されました。



大矢野原演習場

沿革

- 大矢野原は、藩政時(細川氏)、地元民の放牧・採草地であり、細川藩の軍馬の調練場と狩猟地であった
- 明治 16 年以降終戦まで旧陸軍大矢野原演習場として使用
- 昭和 32 年駐留軍全部返還
- 昭和 32 年使用開始
- 昭和 32 年駐留軍提供施設の所管換
- 昭和 26 年駐留軍提供施設の所管換
- 昭和 29 年林野庁から所管換
- 昭和 41 年林野庁から所管換
- 昭和 42 年大蔵省から所管換
- 昭和 47 年土地の購入
- 昭和 54 年土地の購入
- 平成 7 年場内に屋外基本射撃場を建設(現熊本防衛支局工事)
- 平成 12 年土地の購入
- 平成 13 年 1 回目の日米共同訓練を実施
- 平成 15 年 2 回目の日米共同訓練を実施
- 平成 19 年 3 回目の日米共同訓練を実施
- 平成 21 年 4 回目の日米共同訓練を実施
- 平成 22 年縮尺射場移設
- 平成 26 年 5 回目の日米共同訓練を実施(12/1～12/12)

大矢野原演習場にある各種訓練施設

演習場は、東京ドーム約350個分の広さがあり、基本射場、潜入射場、無反動砲射場、ロケット射場、縮尺射場、対戦車火器射場等の各種射場があり、訓練等で使用されています。



基本射場



無反動砲射場



縮尺射場



潜入射場



ロケット射場



対戦車火器射場

大矢野原演習場で行われる各種訓練

演習場にある各射場で実弾射撃訓練、手榴弾投擲訓練、化学火工品を使用した訓練、ヘリ訓練及び日米共同訓練等の各種訓練を行っています。



至近距離射撃



携帯対戦車弾射撃



障害の爆破訓練



訓練用交戦装置による訓練



戦闘訓練(攻撃行動)



機関銃による射撃支援

日米共同訓練

(大矢野原演習場・高遊原分屯地における米海兵隊との実動訓練)

自衛隊と米軍は、戦術面などの相互理解と意思疎通を深め、相互運用性を向上させるとともに日米の共同対処能力を高めるため、平素より様々な共同訓練を実施しています。

平成26年12月1日～12月12日の間、熊本県上益城郡山都町にある大矢野原演習場及び高遊原分屯地において、陸上自衛隊は第42普通科連隊1個中隊基幹約250名、米海兵隊は第9海兵連隊第2海兵大隊の1個中隊基幹約250名とMV-22オスプレイが参加して日米共同訓練がおこなわれました。



ヘリボン訓練

米軍機による大型ヘリ(シースタリオン)とMV-22(オスプレイ)を用いて部隊を輸送する訓練がおこなわれました。



高遊原分屯地で自治体関係者がMV-22オスプレイに体験搭乗

佐賀県、熊本両県の自治体・議会関係者等は12月8日陸上自衛隊と米海兵隊による日米共同訓練の一環として、MV-22オスプレイの体験搭乗に参加しました。



MV-22オスプレイに搭乗する佐賀県、熊本県の自治体・議会関係者等

2 自治体紹介



町章

山都町の「山」の文字で人と自然が調和する町をデザイン。阿蘇外輪山と九州山地の緑に囲まれた町で、伝統薫るそよ風が吹くイメージ。町を包む自然とやさしい風が創るゆとりの空間をイメージしています。

熊本県 上益城郡 山都町

風かおる、文楽と石橋の郷 山都町
～星と森、そして水の生まれる里～



〒861-3592
熊本県上益城郡山都町浜町6番地

ホームページアドレス：<http://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/>



山都町長 工藤 秀一
(くどう しゅういち)

町長あいさつ

山都町は九州の真ん中「九州のへそ」に位置しています。北部は阿蘇南外輪山、南部は九州脊梁山地の山々が連なり、その山々を水源とする一級河川の緑川や五ヶ瀬川の流れが、起伏に富んだ独特の渓流美を形成しています。このような自然環境が育む農業が盛んであり、矢部茶や高冷地野菜、ゆず等の数多くの特産品があります。また、1757年に豊年祈願祭として始まった「八朔祭」や国の重要文化財に指定されている「通潤橋」、熊本県の重要無形文化財に指定されている「清和文楽」など多くの歴史的資源に恵まれています。

このような自然や歴史的文化が残る我が町に、広さ約16km²の面積を有する陸上自衛隊大矢野原演習場があります。使用日数300日以上、延べ12万人以上の自衛隊員が訓練に励まれています。

また、昨年12月1日から12日までの間、同演習場において日米共同訓練が実施されました。この訓練には全国で2例目、九州で初めてオスプレイが参加しました。周辺住民にはオスプレイの安全性、騒音や振動などの不安がありましたが、事前に意見聴取会や地元説明会を実施し、九州防衛局や西部方面総監部から丁寧に説明していただいたことにより、大きな問題もなく無事終了することが出来ました。

今後も自衛隊と町民との良好な関係を保ち、安心・安全の確保を図りながら、より良い町づくりを推進してまいります。



「通潤橋」(国指定重要文化財)

江戸時代の1854年、時の惣住屋、布田保之助が水の便が悪く水不足に苦しんでいた白糸台地の民衆を救うために建設した日本最大級の石造りアーチ水路橋です。また、「通潤用水と白糸台地の棚田景観」は、平成22年2月22日に国の重要文化的景観に選定されました。



「清和文楽」(熊本県重要無形文化財)

今から約160年前、山都町清和地区を訪れた淡路の人形座から浄瑠璃好きな村人が人形を譲り受け、その操り方を習ったのがはじまりで、農村芸能として受け継がれてきました。



「八朔祭」

田の神に感謝し収穫の目安を立てる八朔(旧暦8月1日)の日に、豊年祈願と商売繁盛を願い行われます。大きいもので高さが4mを越える「大造り物」は商店街の連合組が競い合い、竹や杉、シュロの皮など、野生に自生する植物を材料として造ります。その迫力は圧巻です。

■ 自衛隊とのかかわり



「通潤橋」除草作業

国指定重要文化財「通潤橋」の除草作業を第42普通科連隊と熊本県山岳連盟共同により実施しています。



中東フェスタ 演奏披露

大矢野原演習所がある中島東部地区で毎年開催されている中東フェスタ(収穫祭・スポーツ大会)で、自衛隊音楽隊の演奏を披露していただいています。今年度は、矢部中学校吹奏楽部と合同で演奏を披露しました。



大矢野原演習場「火入れ」

地元住民と第42普通科連隊及び第8特科連隊の隊員と一緒に毎年3月に大矢野原演習場に火入れを行っています。

3 九州防衛局

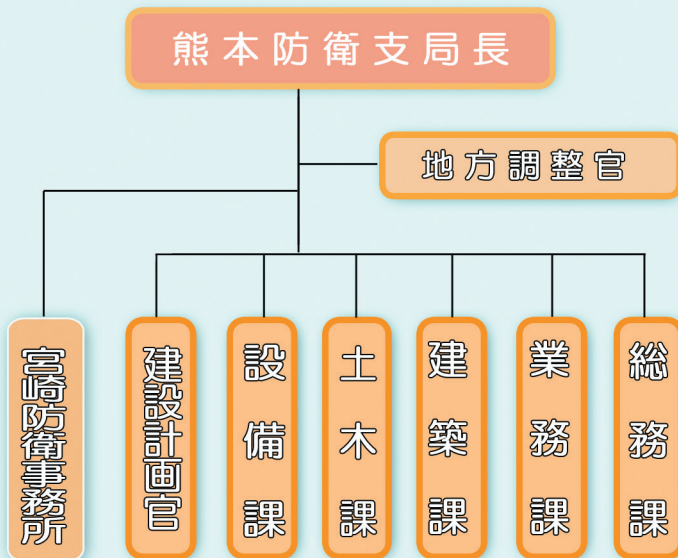


熊本防衛支局の業務紹介



■ 熊本防衛支局は、南九州3県（熊本・宮崎・鹿児島）を管轄区域とし、主に自衛隊等が使用する施設の〔取得〕・〔管理〕・〔建設〕に関する業務を行っています。
 昭和37年に旧防衛施設庁福岡防衛施設局熊本支局として発足後、昭和61年に「熊本防衛施設支局」に名称変更、さらに平成19年の防衛省組織改編に伴い「熊本防衛支局」へと名称変更し、現在に至っています。
 当支局庁舎は、熊本市東部の桜並木で有名な通称自衛隊通りの北端、陸上自衛隊西部方面総監部の北西側一角に所在しています。

組織



管轄区域(南九州3県)

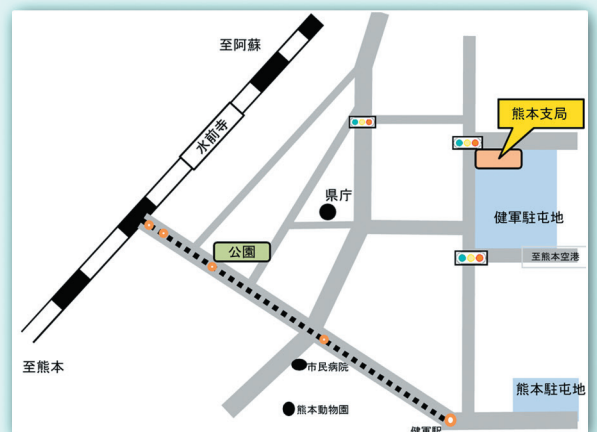


熊本防衛支局庁舎



〒862-0901
 熊本市東区東町1-1-11 TEL (096) -368-2171

アクセス



■ 熊本市電健軍電停より徒歩20分
 ■ 自衛隊前バス停より徒歩10分

業務紹介

総務課



支局の所掌事務の総合調整並びに決算及び会計・入札・契約等

☎ 096-368-2171
☎ 096-368-2174

業務課



自衛隊施設等の用地等の取得、管理並びに関係機関等との連絡調整等

☎ 096-368-2172

鹿屋飛行場周辺地区
グラウンドゴルフ場



(防衛省が管理する国有財産を地元自治体に使用許可)

新田原基地 移転訓練



(米軍関係者に対する調達業務の説明会)

建築課



建築工事の基準、設計、積算、施工促進、監督及び検査等

☎ 096-368-3605

沖永良部島分屯基地 隊行舎 (24年度完成)



健康駐屯地 浴場 (25年度完成)



新田原基地 筒舎 (24年度完成)



土木課



土木工事の基準、設計、積算、施工促進、監督及び検査等

☎ 096-368-3607

鹿屋航空基地 燃料施設 (25年度完成)



新田原基地 滑走路 (23年度完成)



設備課



電気、機械、通信工事の基準、設計、積算、施工促進、監督及び検査等

☎ 096-368-3609

ボイラー室 (24年度完成)



(新田原基地)

特別高圧受配電施設 (26年度完成)



航空灯火設備 (24年度完成)



建設計画官



建設工事に関する事務の企画、立案及び総括並びに実施計画等

☎ 096-368-2173

業務に関する質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

4 インフォメーション

第28回防衛問題セミナー開催のお知らせ

開催日：平成27年3月25日（水）
18：30～20：30（開場 18：00）

会場：コスメイト行橋 文化ホール（福岡県行橋市）

テーマ：西空の翼 ～南西地域の防空態勢～

第1部：我が国周辺の軍事情勢と西部航空方面隊の役割
（講師：西部航空方面隊 司令官 丸茂吉成（空将））

第2部：領空侵犯措置の現状
（講師：第8航空団 飛行群司令 西野一行（1等空佐））

定員：400名（入場無料）

※聴講希望の方は、電話又はメールで申込みをお願いします。

連絡先：九州防衛局 地方調整課 地方協力確保室

TEL：092-483-8816

E-mail：seminar@kyushu.rdb.mod.go.jp

第28回防衛問題セミナー
西空の翼
～南西地域の防空態勢～

開催日 平成27年3月25日(水)
18:30～20:30(開場18:00)

会場 コスメイト行橋 文化ホール
福岡県行橋市中央1-9-3

プログラム 第1部：我が国周辺の軍事情勢と西部航空方面隊の役割
講師：西部航空方面隊 司令官 丸茂吉成(空将)

第2部：領空侵犯措置の現状
講師：第8航空団 飛行群司令 西野一行(1等空佐)

定員 400名

※当日は、会場周辺の方も案内状にご案内しますので、ご来場の際は、下記のとおり先にご覧いただき、電話又はメールでお申し込みをお願いします(定員になり次第締め切らせていただきます)。
※会場には駐車料(500円)はありますが、道路が窄まるため、なるべく公共交通機関をご利用して来場して下さい。
※案内により変更になる場合があります。

【主催】九州防衛局
【協賛】九州防衛局 地方調整課 地方協力確保室
TEL: 092-483-8816
E-mail: seminar@kyushu.rdb.mod.go.jp

川嶋貴樹 九州防衛局長 着任あいさつ



■九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご愛読の皆様初めまして、1月23日付けで、九州防衛局長に着任しました川嶋貴樹(かわしま たかき)です。

九州管内の防衛行政全般を所掌する九州防衛局の責任者として着任し、非常に身の引き締まる思いであります。また、九州での勤務は初めてになりますが、歴史と文化と『食』のまち『九州』に触れ、多くの発見ができることを楽しみにしております。

九州防衛局は、防衛行政の地方における拠点の役割を担う地方防衛局の1つとして九州地方の7県を担当しております。具体的には、防衛施設の取得・管理・建設、防衛施設が所在することにより生じる騒音等障害を防止・軽減するための施策、地方自治体の行う道路工事や護岸工事、防災無線整備等への補助、自衛隊や在日米軍の行為等により損失を受けた方に対する各種補償など様々な施策を行っています。さらに、防衛省・自衛隊の施策や活動について、広く地域住民等の皆様にご理解いただくため、防衛白書の説明、日米交流事業、防衛問題セミナーや自衛隊の活動などの写真パネル展なども行っています。

当局管内には、さまざまな複雑かつ困難な課題が山積みしておりますが、地元の皆様のご意見に耳を傾け、関係地方公共団体や地域の方々のご理解・ご協力を賜りながら、自衛隊施設や米軍施設の安定的な使用や円滑な運用が図られるよう、最大限の努力を行っていく所存でございます。

今後も九州防衛局は、地域の皆様と防衛省・自衛隊を結ぶ架け橋となれるよう、職員一丸となって取り組んで参りたいと思っておりますので、皆様方の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
 - ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。
- <http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

ご意見・ご感想 TEL 092-483-8813 mail info@kyushu.rdb.mod.go.jp